

20.丹沢湖（神奈川県西部）

丹沢湖は冬が良い。特に丹沢の山々が白く染まり、湖畔にも白いものが残って湖面から吹き付ける冷たい風が耐えがたいぐらいの時期が鳥影も濃くなり面白い。ただし、最近は暖冬さみで面白さが半減なのは寂しい限りです。

丹沢湖での観察ルートは2コースが考えられます。1のコースは丹沢湖バス停起点に世附川橋の往復と、もうひとつのコースはバス停起点の丹沢森林館経由、玄倉川橋の往復です。2のコースも面白いが車道を歩く個所が多く交通量も増えてきて落ち着いて観察しにくいという欠点があります。2つのコースともやはり目玉はヤマセミです。ここで初めて観察できたという人は数しれません、暖冬気味の今般でも個体数の多いのは変わらないようです。

今回は世附コースを紹介いたします。
 ‘丹沢湖バス停 記念館 駐車場 三保ダムサイト 世附大橋 世附川橋’

復路は同じコースを戻ります。トイレは駐車場と世附川橋の近くにあります。

この魅力はヤマセミの他にオシドリやベニマシコ、カモ類やたまにカワアイサを観察できることです。コースの3分の2が歩道と自転車専用道路のため観察しやすいことがあげられます。

バス停を降り、さっそくメジロやシジュウカラを観察しながら、駐車場脇の公衆トイレに寄ります。周辺でアオジが見られます。道路を渡り帰りに利用するバス停の裏から遊歩道に入ります。ヤマガラ、エナガ、ウグイス、湖面に近い斜面林でホオジロやカシラダカを観察しながら、記念館裏に向かいます。湖面でカワセミを探しながら

先ほどのトイレまで一周します。ダムサイトに出てセキレイ類を探しながら、タヒバリやイソシギを観察します。ダムの下でダイサギが観察でき、ヤマセミも運が良ければ観察できます。ダムサイトから湖面を観察してみましよう、湖面の「浮き」の上にマガモ、カルガモそしてオシドリが数羽混じっていることがあります。

ダムサイトから自転車専用道路の柵を越えます。道路の欄干にジョウビタキがいます。欄干から湖面を見るとキンクロハジロの集団が観察できます、中にキンクロハジロではないものも混じることがあるので良く観察してみましよう。斜面林にはルリビタキ、ヒガラ、そして、カヤクグリが観察でき、先に進みます。道路と湖面の間の広い藪の中からベニマシコの地鳴きが聞こえてきます。頑張って探してみましよう。

さあそろそろ、オシドリのポイントです。対岸の落合トンネル下の湖岸をフィー

丹沢湖でよく見られるヤマセミ
 絵：清水道夫



コースタイム 5時間
 丹沢湖バス停～記念館～駐車場～三保ダムサイト～世附大橋～世附川橋
 復路は同じコースを戻る。
 地形図：1:25,000 山北 案内図：丹沢（昭文社）

季節

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

ルドスコープで探してみましょう。多数のオシドリが観察できるはず。カワアイサの観察されたポイントもこの湖面付近です。世附大橋まではシロハラやウソも探してみましょう。時によってはマヒワの大群やハギマシコも観察されています。大橋のトンネルの手前と出口もポイントです、カラの混群に出会えるかもしれません。世附川橋までは対岸が近く、ヤマセミが見やす

い場所となります。湖上に張られた電線に注意しましょう、良くヤマセミが止まっています。

世附ロッジの周辺も観察ポイントとなっています。イカルやカラ類、カシラダカなど。昼食もこのあたりで済ませます。

復路は同じ道を帰ります。往路で観察できなかった新しい発見を期待しましょう。対岸の道は交通量が多いのと、逆光のため観察には不向きです。（小林 力）



永歳橋



観察できた鳥

2000.2.27（ふれあい）探鳥会の記録（33種）

アオサギ・マガモ・ノスリ・ヤマセミ・ミソサザイ・ルリビタキ・ジョウビタキ・シロハラ・ツグミ・コガラ・アオジ・ベニマシコ・ウソなど

1999.2.21（ふれあい）探鳥会の記録（30種）

アオサギ・マガモ・オシドリ・ヤマセミ・タヒバリ・カヤクグリ・ジョウビタキ・イソヒヨドリ・カシラダカ・アオジ・ベニマシコ・ウソなど

1997.1.19（ふれあい）探鳥会の記録（42種）

カイツブリ・オシドリ・マガモ・ヒドリガモ・オナガガモ・ホシハジロ・キンクロハジロ・カワアイサ・ノスリ・ヤマドリ・カワセミ・アオゲラ・カワガラス・イフヒバリ・カヤクグリ・ルリビタキ・ジョウビタキ・ベニマシコ・ウソなど

あし

- ・小田急線新松田駅／JR御殿場線松田駅 下車 富士急行バス 西丹沢行き丹沢湖下車
- ・交通機関問い合わせ先：ページ 117 参照